



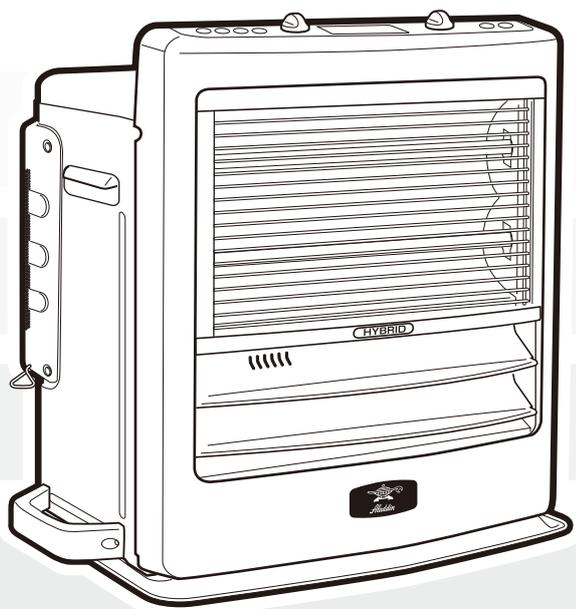
取扱説明書

ハイブリッド石油ファンヒーター

型式 CAK-GF46A

〔電気温風機付強制通気形開放式石油ストーブ〕

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みの上、ご家族全員で安全に正しくお使いください。お読みになった後、大切に保管し、必要なときにお役立てください。裏面保証書の「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



もくじ

特に注意していただきたいこと	2
各部のなまえ	7
各部のなまえとはたらき	8
ご使用前の準備	
使用する前の準備と確認	10
時計の合わせかた	10
使用燃料について	11
給油のしかた	12
残り燃焼時間表示について	13

お使いになる前に

使いかた	
6種類の運転モードについて	14
基本的な使いかた	16
ハイブリッドモード	18
グラファイトモード	20
温風モード	21
タイマー予約のしかた	22
チャイルドロック	23

使いかた

故障かな？	24
異常のお知らせと処置のしかた	25
日常の点検とお手入れのしかた	27
定期点検について	32
部品交換について	33
保管のしかた	33
仕様	34
保証とアフターサービス	35
保証書	裏表紙

お手入れ・保管・その他

危険



KEROSENE ONLY

ガソリン使用禁止
使用燃料:灯油

警告



換気必要
1時間に1~2回

寝るとき消火
スプレー缶厳禁

注意

変質した持ち越し灯油
使用厳禁

日本国内専用

家庭用

食品・精密機器・美術品の保存や動植物の飼育、栽培などには使用しないでください。グラファイトヒーターはガラス製品のため、落としたり衝撃を加えないよう十分に注意してください。

正しく使って上手に節約

必ずお守りください

特に注意していただきたいこと

お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

 危険	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「人が死亡または重傷などを負う可能性、または火災の可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

危険(DANGER)

■ ガソリン使用禁止



KEROSENE ONLY
ガソリン使用禁止

- ガソリン、混合油(農機具用)など揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

警告(WARNING)

ご使用中

■ 換気必要

- 換気せずに使用しつづけないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などのかたは、体調不良になるおそれがあります。使用中は必ず1時間に1~2回(1~2分)換気して、新鮮な空気を補給してください。換気する時は、換気扇を使用したり、2ヶ所以上の開口部を設けると効率よく換気ができます。
- 窓の凍結や地下室など換気が十分に行えない場所では使用しないでください。



1時間に1~2回(1~2分)換気する

■ スプレー缶厳禁

- スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



■ 寝るとき消火

- 寝るときや外出するときは、必ず消火してください。予想しない事故が発生するおそれがあります。



消火

警告(WARNING)

ご使用中

■ 温風吹出口をふさがない

- 衣類、紙などで温風吹出口や前面ガード、空気取入口をふさがないでください。衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。



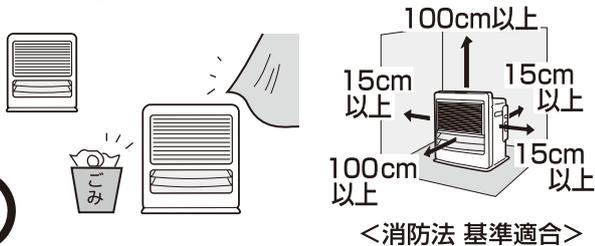
■ 可燃性ガス使用厳禁

- ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、ガソリン、シンナー)や、スプレーを使用しないでください。火災や故障の原因になります。



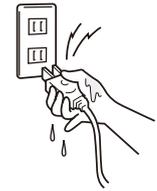
■ カーテン・寝具など可燃物近接厳禁

- カーテンや衣類、ふとんや毛布など燃えやすいもののそばで使用しないでください。火災の原因になります。タイマー予約するときも可燃物がそばにないか確認してください。
- 可燃物との離隔距離は、下図に示す距離を確保してください。



■ めれた手で電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。



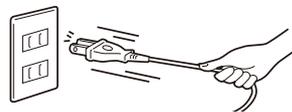
■ 電源プラグのお手入れをする

- とくどき、電源プラグを抜きほこり等を乾いた布でふきとってください。
- 電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。



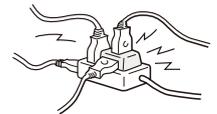
■ 電源コード・電源プラグを傷めない

- 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込まないでください。また電源プラグを抜くときはコードを持って引き抜かないでください。
- 傷んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグの修理は、販売店にご相談ください。



■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

- 定格15A以上のコンセントを単独で使用し、他の器具と併用しないでください。
- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



■ デジタル表示部に「H 83」と表示したら、使用しない

- 異常燃焼し、火災の原因になります。
- 販売店へご連絡ください。



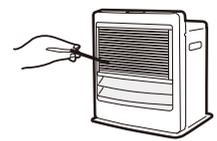
■ 電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで差し込んでください。また傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



■ 本体の穴やすき間にピンや針金などの異物を入れない

- 火災や感電の原因になります。



⚠ 注意(CAUTION)

給油

■ 給油時消火

- 給油は必ず消火してから行ってください。火災のおそれがありますので、火の気のないところで行ってください。



■ 油漏れ確認

- 給油口口金は正しく、確実にしめてください。
- 口金を斜めにしめたりすると簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。
- 給油口口金を下にして、油漏れがないことを確かめてください。



■ 居室内給油禁止・給油時火気禁止

- 給油は必ず居室外の火の気のないところで行ってください。火災のおそれがあります。



■ 不良灯油使用禁止

- 変質灯油（持ち越した灯油）不純灯油（灯油以外の油、水、ゴミが混入した灯油など）などの不良灯油を使用しないでください。
- 異常燃焼や故障の原因になるおそれがあります。



使用する場所

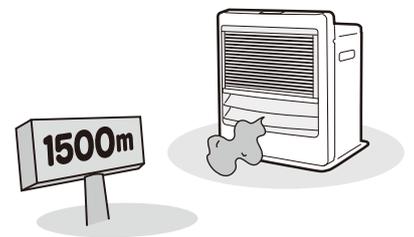
■ スプレーや化学薬品を使用する場所で使わない(理・美容院、クリーニング店、メッキ、塗装、脱脂、洗浄工場など)

- フロンガスや塩素系溶剤は有毒なガスの発生により、健康を害することになります。また、鏡やガラスなどを傷め、金属がさびたり、繊維製品の変色、損傷、器具の故障の原因になることがあります。



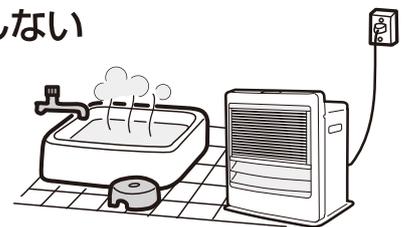
■ 高地(標高 1500m 以上)使用禁止

- 不完全燃焼するおそれがあります。空気濃度が薄いので、正常燃焼の確認と換気に注意してください。



■ 浴室や湿気が多い(水のかかりやすい)ところで使用しない

- 感電やショート・発火の原因になります。



■ 次の場所では使わない

- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物を乗せた棚などの下
- 風の当たる場所や部屋の出入口
- 可燃性ガスの発生する場所・たまる場所
- 人のいない場所(温室、飼育室など)
- 毛足の長い繊維や座ぶとんなどの上



↓
火災の原因になることがあります。

- マントルピースなど本機が囲われる場所
- ほこり、湿気、金属粉の多い場所
- 超音波加湿器を使用している部屋



不完全燃焼の原因になることがあります。

- 直射日光が当たる場所



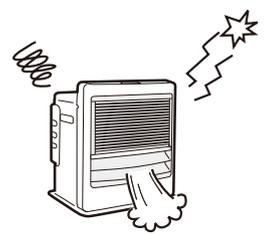
給油タンク内の空気が膨張し、灯油があふれ出て、油漏れの原因になることがあります。

⚠ 注意(CAUTION)

ご使用中

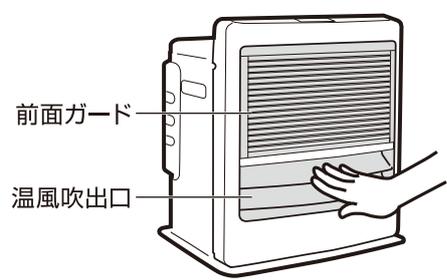
■ 異常・故障時使用禁止

- 油漏れやにおい、すすの発生、炎の色など異常や故障と思われるときは使用しないでください。異常燃焼のおそれがあります。運転ボタン「切」を押して運転を停止し、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。



■ 高温部接触禁止

- 燃焼中や消火直後は、温風吹出口および前面ガードに手などふれたり、内部に手を入れたりしないでください。やけどのおそれがあります。



■ 長時間同じ部位を暖めない

- 低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。
- 温風を直接吸い込まないでください。気分が悪くなる原因になることがあります。

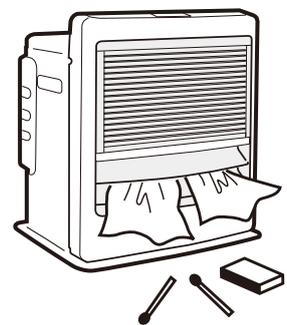
「低温やけど」について

- 比較的低い温度(40℃～60℃)でも長時間皮ふの同じ所が熱せられると、熱い、痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがあります。
- 次のような方は特にご注意を!
 - 乳幼児、お年寄り、皮ふの弱い方
 - 眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方
 - 深酒・疲労の激しい方



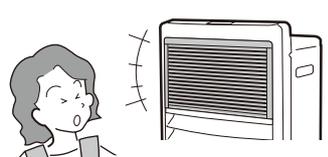
■ 温風吹出口に指や異物を入れたり、放置したりしない

- 温風吹出口や吹出口内部に指や、紙、布、プラスチックや、マッチ、ガスライターなどを入れたり、放置したりしないでください。発火や破裂の原因になります。



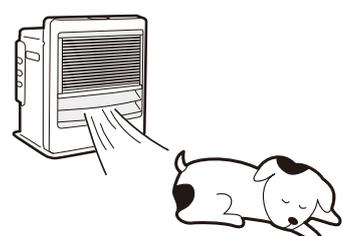
■ 通電中はグラファイトヒーターを直接見つめない

- グラファイトヒーターを長時間見つめると、目に悪影響を与えるおそれがあります。



■ ペットの暖房用に使用しない

- ペットが本体やコードを傷め、火災の原因になります。



- 特にお子さまやお年寄りなどのご自分で操作できない方が使用するとき、周囲の人が十分注意してください。
- 衣類乾燥など、他の用途に使用しない。
- ガードを外して使用しない。

お使いになる前に

⚠ 注意(CAUTION)

ご使用について

■ 電源プラグを抜いて消火しない

- 消火後、送風が止まるまで電源プラグを抜かないでください。温風空気取入口や天板が高温になり、やけどや故障の原因となります。また、強いにおいがでる原因になります。



■ 持ち運ぶときは火を消して給油タンクを抜く

- 傾けないように静かに運んでください。特に階段などでは油漏れのおそれがあります。
- 引っ越し等の運搬時は必ず灯油を抜き、傾けたり横倒しの状態で運搬しないでください。



■ 熱に弱い床面にはマットなどを敷く

- 熱に弱い材質の床面は変色、ヒビ割れ、そり返りなどが発生することがあります。また、ほこりやたばこの煙などで変色することもあります。保護のため熱に強いマットなどを敷いてください。



■ 腰をかけたり水をかけたり重いものを乗せない

- 水の入った容器や物を上に乗せないでください。水が内部に入ると感電や故障の原因になることがあります。
- 本体の上に乗ったり、腰をかけたりしないでください。天板がへこんだり、やけどのおそれがあります。



■ ファンヒーターを使用している部屋では、超音波加湿器やシリコン配合製品を使用しない

- 本体近くで超音波加湿器やシリコン配合の枝毛用コート液・化粧品・つや出し剤などは使用しないでください。燃焼部に金属酸化物やシリコン酸化物が付着し、異常燃焼や点火ミス途中消火の原因になることがあります。



シリコン配合の商品には次のようなものがあります。
ヘアケア商品(ヘアトリートメント、ムース、枝毛用コート液)、ガラスクリーナー、制汗剤、化学ぞうきん、洗濯用柔軟剤、家具や床つや出し剤、ペットの臭い消しアロマなど



点検・お手入れ・廃棄

■ ほこりの除去

- 燃焼・温風空気取入口は、週1回以上必ず掃除してください。ごみ、ほこりなどが付着すると異常燃焼のおそれがあります。



■ 分解修理・改造の禁止

- 不完全な修理や改造は危険です。
- 改造して使用しないでください。
- 修理技術者以外の方は絶対に分解、修理は行わないでください。
- 故障、破損したら、使用しないでください。異常燃焼や火災の原因になることがあります。



■ お手入れするときは本体が冷えた後、電源プラグを抜いてから行う

- 感電・やけどの原因になることがあります。



■ 廃棄するときは灯油を抜く

- 本体を廃棄処分するときは、必ず給油タンク、油受皿内の灯油を市販の給油ポンプ等で抜き取ってください。(☞ 32ページ)
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際思わぬ事故になるおそれがあります。



■ 保管時にしていただくこと

- 保管するときや長時間使用しないときは、必ず灯油を抜いてください。(☞ 32ページ)
傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。油漏れや火災のおそれがあります。



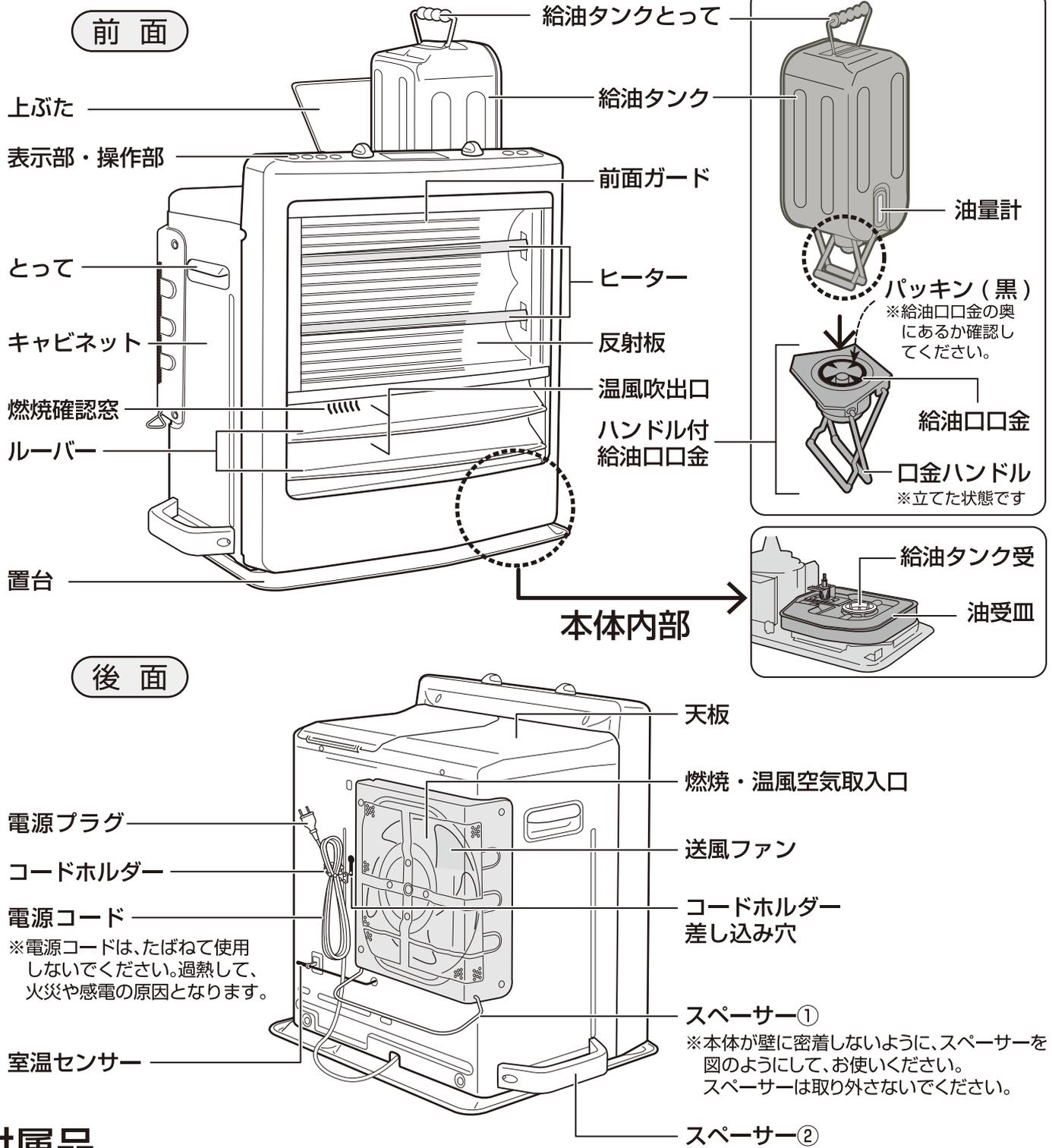
■ 長期間使用しないときは電源プラグを抜く

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
- 火災や予想しない事故の原因があります。



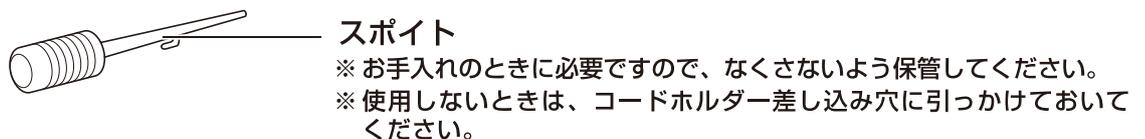
各部のなまえ

本体



お使いになる前に

付属品



お願い(NOTICE)

- 本体をひきずらないでください。床面、畳、じゅうたんなどを傷つけたり、本体底面の塗装がはがれて、さびの原因になることがあります。

各部のなまえとはたらき

表示部・操作部

※イラストは説明のため、全部点灯、表示したものです。
実際の運転のときは該当部分が表示されます。

時刻合せボタン

- 現在時刻を合わせるときに押します。
* 3秒間長押しすると、時刻設定表示に切り替わります。

タイマーボタン・ランプ

- タイマー予約の開始、取り消しをするときに押します。
- タイマーランプが点灯、または点滅し動作状況をお知らせします。
* タイマー予約は温風モードで運転するときに使用できます。

ランプサイン

- 点灯**
 - ・ タイマー予約中
 - ・ タイマー運転中
- 点滅**
 - ・ タイマー運転終了の10分前
 - ・ タイマー運転終了後

運転中

設定温度と室内温度を表示し

運転停止中

現在時刻を表示します。
ご購入時の状態や、現在時刻が
れていないときは、「-- --」()
点灯表示します。

タイマー予約時

約10秒間、設定時刻を表示し

給油タンクの油が少なくなつた

残りの運転時間の目安を表示

故障・異常時

自己診断表示記号を表示しま

※デジタル表示部は見る方向

温度/タイマー調節

設定温度/時

20℃ 約時

残油 給油 換

CAK-C

クリーニングボタン

- クリーニング(から焼き)するときを押します。
* クリーニングするときは、3秒間長押ししてください。

3時間延長ボタン・ランプ

- 運転を継続・延長するときを押します。
* 運転開始から2時間45分経過すると、10秒間「ピピッ、ピピッ」とお知らせ音が鳴り、ランプが点滅します。

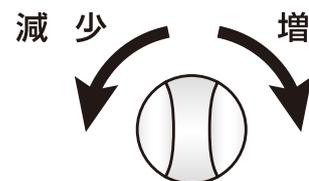
ランプサイン

- 点滅**
 - ・ 運転開始から2時間45分経過後
- 点灯**
 - ・ 3時間経過し、自動消火中

- * チャイルドロックの設定/解除をするときは3秒間長押ししてください。

温度/タイマー調節

- 温度調節、現在時刻、タイマーの時刻を合わせるときに
右にまわすと、温度、また
増加し、左にまわすと減少



デジタル表示部

残油

点灯…油切れ消火までの運転時間の目安をデジタル表示部に表示します。
 点滅…給油をお知らせするブザーが鳴っているときに点滅します。

給油

点灯…油切れ予告中。
 (給油タンクが空の状態)
 点滅…消火が近いとき／油切れ消火時。
 *油切れ消火時は「U 13」を表示します。

換気

点滅…不完全燃焼防止装置が作動し、自動消火したとき。
 室内の換気が必要です。

掃除

点滅…燃焼・温風空気入り口フィルターのお手入れをしてください。

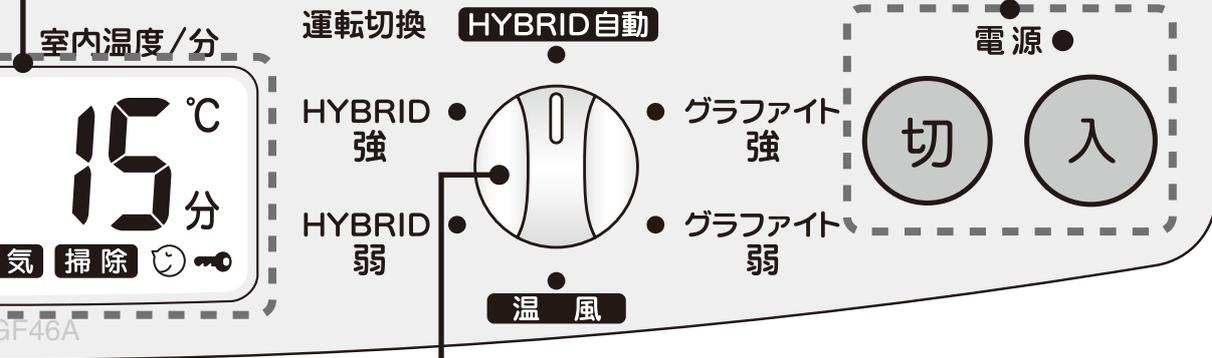
🔑 チャイルドロック設定時

電源ボタン「入」／「切」・ランプ

- 「入」ボタンを押すと、運転を開始します。
- 「切」ボタンを押すと、運転を停止します。

ランプサイン

- **点灯** ・ 運転中
- **点滅** ・ 故障／異常時
- **消灯** ・ 停止中



運転切換ダイヤル・ランプ

- 運転モードを切り換えるときに右、または左にまわします。現在選択されている運転モードのランプが点灯します。

運転モードについて

HYBRID 自動	石油ファンヒーターとグラファイトヒーターを使用します。
HYBRID 強	
HYBRID 弱	
温風	石油ファンヒーターのみ使用します。
グラファイト 強	
グラファイト 弱	グラファイトヒーターのみ使用します。

ご使用前の準備

使用する前の準備と確認

1 本体を取り出す

- 各部の包装部材を全て取り除きます。詳しくは、箱上面の「開こんのしかた」をお読みください。

次のことは、工場での燃焼テストによるもので、異常ではありません。

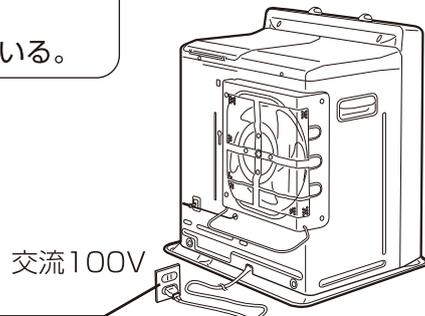
- 油受皿に少量の灯油が残っている。
- 給油フィルターがぬれている。
- 温風吹出口より見える燃焼筒(炎をかこんでいる筒)が変色している。

2 水平を確認する

- 水平で丈夫な床面に設置してください。
- 水平でないときは、水平な場所に移動してください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

- コードホルダーを開き、電源コードをのぼして差し込む。電源コードを束ねたままにしないでください。
- 給油タンクは本体に取り付けてください。給油タンクが本体に取り付けられていないと、「U 13」と表示し、電源ランプが点滅します。
- 電源ボタン「切」を押して運転を停止した状態でも約1W消費しています。



ご使用前の準備

時計の合わせかた



3時間延長ボタン 温度/タイマー調節ダイヤル

1 時刻合せを3秒間押す

デジタル表示部



- 初めて使用するときや、電源プラグをコンセントから抜き再度差し込んだとき点滅します。

2 温度/タイマー調節ダイヤルをまわし、時刻を合わせる

- 時刻を進めるときは右にまわし、戻すときは左にまわしてください。



最初、午前5時00分を表示し、「時」、「分」が点滅します。



<現在の時刻が午後3時30分の場合>

3 時刻合せを押すと、時刻設定が完了



- デジタル表示の「時」、「分」が点灯し、時計が動きます。

お知らせ

- 電源プラグを抜くと、再度時計の時刻合わせをやりなおす必要があります。
- 表示は24時間表示です。(夜中の12時の場合、「0時 00分」と表示します。)

使用燃料について

燃料は必ず灯油(JIS 1号灯油)を使用してください。

⚠ 危険(DANGER)



ガソリン禁止

ガソリン使用禁止

ガソリン、混合油（農機具用）など揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけ息を吹きかける。
(火の気のない所で行ってください。)



灯油は、ぬれたまま



ガソリン、はすぐ乾く

(区別が付きにくいときは、お買上げの燃料店にお問い合わせください。)

⚠ 注意(CAUTION)

変質灯油・不純灯油は使わない



変質した持ち越し灯油
使用禁止

- 異常燃焼や故障の原因になることがあります。

- 点火しにくくなったり、白煙が出ます。
- 消火時のにおいが強くなったり、点火してもすぐ消えたり、暖まらないようになります。
- 燃焼が悪くなり、においがしたりして、安全装置が作動します。

変質灯油

- 古い灯油。(昨シーズンより持ち越した灯油)
- 日光の当たる場所、高温の場所で長期間保管した灯油。
(特に乳白色のポリ容器や容器のふたをあけて長期間保管したものは変質します。)

極度に変質したものは黄色味がかったり、酸っぱい臭いがします。

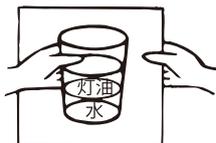
不純灯油

- 灯油以外の油(てんぷら油や機械油、重油、ガソリン、シンナー)などがほんのわずかでも混入した灯油。
- 水やごみ、ドラム缶のさびなどが、混入した灯油。
- 灯油水抜剤や助燃剤を添加した灯油。

変質灯油・不純灯油の見分けかた

コップに水を入れ、次に灯油を入れて背後に白い紙をあてます。

- 水と同じ無色透明なら正常。



- 少しでも色がついていたら使用しない。



使用禁止

万一変質灯油や不純灯油を使用したときの処置

不良灯油を除き、給油タンク、油受皿の内部をきれいな灯油で洗い、クリーニング(から焼き)をしてからご使用ください。(30ページ「クリーニング(から焼き)」)

それでも効果のないときは、お買上げの販売店にご相談ください。(分解・点検が必要です)

灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

変質灯油、不純灯油が原因でサービスを依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

灯油の保管のしかた

火気、雨水、ごみ、高温及び直射日光を避けた場所に必ず保管する

- 灯油は翌シーズンに持ち越さない。シーズン終了前に使いきってください。
- 灯油は直射日光を避け、青や赤など着色されたポリ容器(灯油用)で保管してください。ポリ容器のふたは確実にしめてください。

- ポリ容器に雨水がかからないように。ポリ容器の灯油に水が混入し、燃焼不良の原因になります。



良い保管



悪い保管

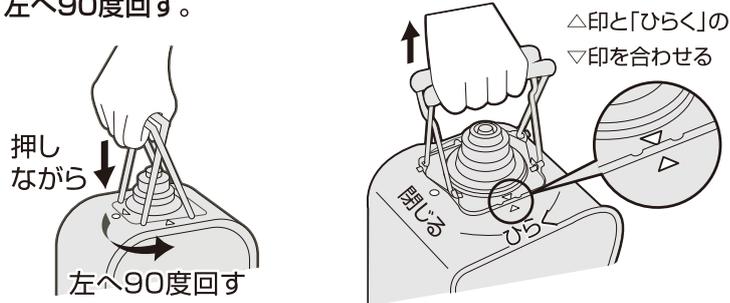
給油のしかた

必ず消火してから行ってください。

1 給油タンクを取り出し、逆さにし、口金をはずす

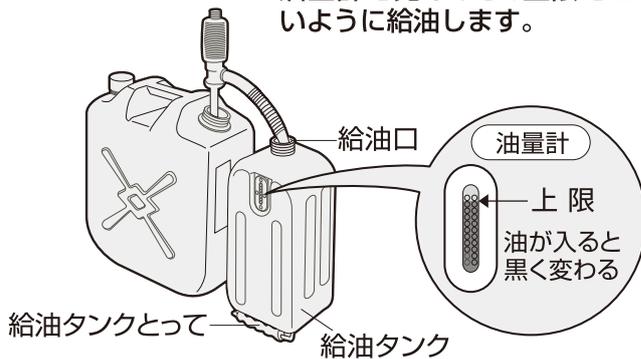
ハンドル付給油口口金のはずしかた

- ①口金ハンドルをにぎり、下へ強く押しつけながら左へ90度回す。
- ②△印と「ひらく」の▽印を合わせ、口金ハンドルを上を持ち上げる。



2 給油する

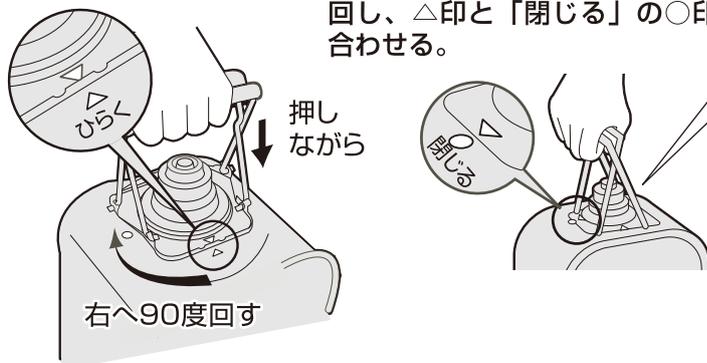
- 給油タンクを下図のようにして、油量計を見ながら、上限をこえないように給油します。



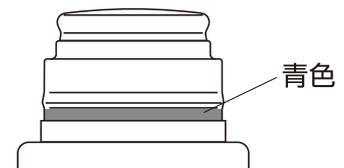
3 口金を締める

ハンドル付給油口口金の締めかた

- ①△印と「ひらく」の▽印を合わせる。
- ②口金ハンドルをにぎり、下へ押しつけながら右へ90度、とまるまで回し、△印と「閉じる」の○印を合わせる。



口金の周囲に青色の線が出ていることを確認する。



- △印と「閉じる」の○印が合っていることを確認してください。
- こぼれた灯油はよくふき取ってください。
- 口金を下にして、灯油漏れがないか確認してください。
- 青色の線が出ていない場合は、もう一度締め直してください。

お知らせ

- 給油口周辺が多少黄色くなることがありますが、異常ではありません。
- 口金が確実に締まっていないと、口金から灯油が漏れて火災のおそれがあります。

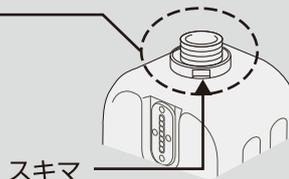
ご使用前の準備

給油のしかた

必ず消火してから行ってください。

お願い(NOTICE)

- 口金ハンドルを利用して給油タンクを持ち運ぶとき、1本では不安定となりますので2本の口金ハンドルを持ってください。
- 給油口が変型しますと油漏れの原因となりますので、ぶついたりしないでください。
- 給油タンクを落とすと、油が漏れたり、ケガをすることがありますのでご注意ください。
- こぼれた灯油はふいてください。
- 口金の周辺やくぼみに灯油がこぼれたら、布などでふき取ってください。下に向けたときこぼれます。
- スキマに指を差し込むとケガをしますので注意してください。

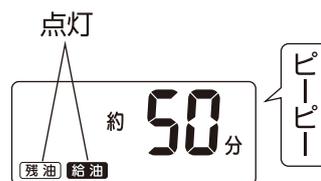


残り燃焼時間表示について

給油タンクの油がなくなると

1 **給油**と**残油**表示が点灯します。ブザーが5秒間鳴り、デジタル表示部に油切れ消火までの運転時間のめやすを表示します。

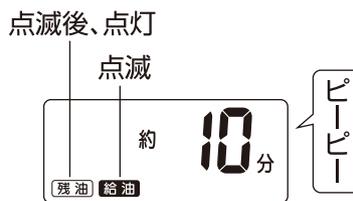
- 燃焼は中～弱で燃焼します。運転時間のめやすは中で燃焼が続いた場合を表示し、表示時間以上の運転が可能です。
(お部屋が暖まっている場合など使用環境によっては、表示時間より大幅に燃焼時間が長くなります)



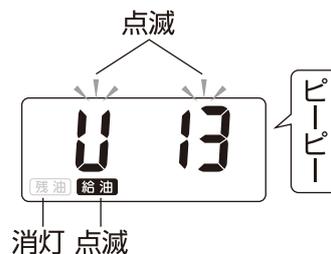
(50と表示。残り燃焼時間は約50分)

2 表示は **40**、**30** のように10分きざみで切り替わっていき、**10** のときはブザーが5秒間鳴ります。

3 **10** に変わってから油切れ消火までは **10** の表示を続けます。その後ブザーが5秒間鳴り、**給油** 表示が点滅し、油切れ消火が近いことをお知らせします。ブザーが5秒間鳴っている間は **残油** 表示は点滅します。それ以外は点灯します。



4 灯油がなくなると自動消火します。ブザーが10秒間鳴り、**残油** 表示が消灯します。**給油** 表示が点滅します。「U 13」が表示し点滅します。



お知らせ

- ハイブリッドモード「HYBRID 自動/HYBRID 強/HYBRID 弱」で運転中に灯油がなくなった場合、石油ファンヒーターとグラファイトヒーターの運転を停止します。表示部には「U 13」を表示し点滅をくり返します。
※電源ボタン「切」を押し、再度電源ボタン「入」を押すとグラファイトヒーターの運転を開始します。

- 運転モードは運転中でも切り換えることができます。
- 本機は安全のため運転開始から3時間経つと自動で運転を停止します。
- 下記の使いかたは一例です。ご使用の環境によって適さない場合もあります。

グラファイトヒーターで瞬間暖房

グラファイト 強

- グラファイトヒーター「強」で運転して暖めます。



グラファイト 弱

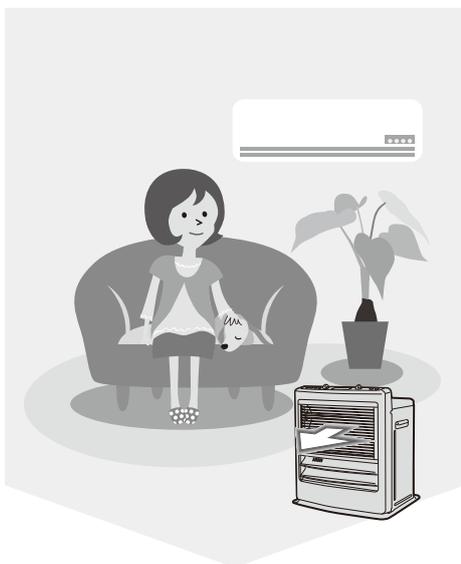
- グラファイトヒーター「弱」で運転して暖めます。



石油ファンヒーターで運転

温風

- 石油ファンヒーターで運転して暖めます。
- 温度調節を自動で行います。
- 暖房出力は最大3.76kWです。



グラファイトモードは、運転を開始するとすぐに通電するため、素早く暖まりたいときにご使用ください。また、灯油切れのときでもご使用いただけます。



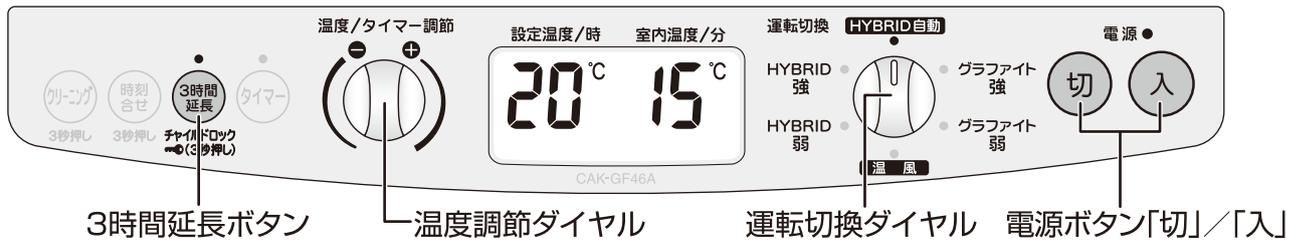
温風モードは、起床時刻や帰宅時刻に合わせてタイマー予約ができます。

- 点火・消火する → P16
- 継続・延長する → P17
- 温度調節をする → P17
- グラファイト 強モード → P20
- チャイルドロック → P23

- 点火・消火する → P16
- 継続・延長する → P17
- 温度調節をする → P17
- グラファイト 弱モード → P20
- チャイルドロック → P23

- 点火・消火する → P16
- 継続・延長する → P17
- 温度調節をする → P17
- 温風モード → P21
- タイマー予約のしかた → P22
- チャイルドロック → P23

使いかた 基本的な使いかた



※本機は安全のため運転開始から3時間経つと運転を自動停止します。

点火・消火する

給油タンクがセットしてある事を確認してください

1 運転切換ダイヤルをお好みの運転モードに合わせる

※運転中に「運転切換ダイヤル」をまわすと、運転モードを切り換えることができます。

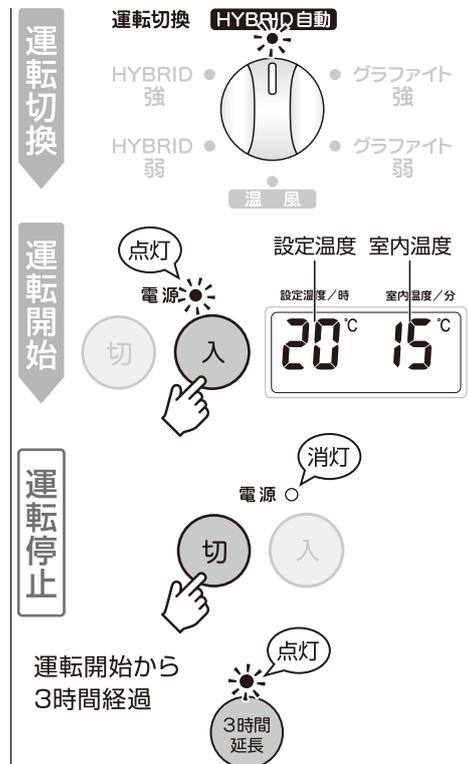
2 「入」を押して、運転を開始する

- 電源ランプが点灯し、グラファイトヒーターの運転を開始します。
- デジタル表示部には設定温度と室内温度を表示します。
※グラファイトモードで運転しているときは、室内温度を表示します。
- 約3分後、石油ファンヒーターが自動点火し燃焼を開始します。

3 消火するときは「切」を押す

- 電源ランプが消灯したことを確認してください。
- 石油ファンヒーター/グラファイトヒーターの運転を停止します。
※石油ファンヒーターが運転していた場合は、再度送風を開始し、約3分30秒後にすべての運転を停止します。
- ※本機は安全のため運転開始から3時間経つと運転を自動停止し、3時間延長ランプが点灯します。運転を継続・延長するには、「3時間延長」ボタンを押してください。

※「HYBRID 自動」モードの場合



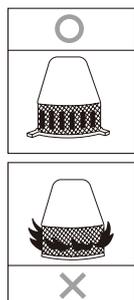
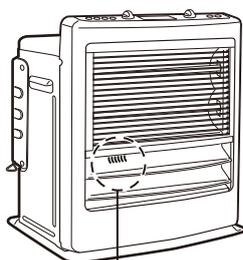
お知らせ

- 点火時「ジー」と音がしたり、数回「カチッ」と音が出て、お部屋の照明が一瞬変化することがありますが異常ではありません。
- 電源ボタン「切」を押して運転を停止した状態でも約1W消費しています。

お願い(NOTICE)

- 超音波加湿器を使用している部屋では本機を使用しないでください。赤褐色の炎になったり、水質によっては本機が故障する原因になります。

燃焼確認窓から炎の状態を確認する



正常燃焼（青色の炎）

- 次のような場合は異常ではありません。
→黄色の炎が時々まじる。
→弱燃焼時に網の部分が赤く見える。

異常燃焼（黄火燃焼）

- 次のような場合は異常です。
→大きな黄炎が出る（すす発生の原因になります）
→音やにおいがする。
- 運転を停止し、お買い上げの販売店へ連絡してください。

継続・延長する

※本機は安全のため運転開始から3時間経つと運転を自動停止します。
(消し忘れ消火装置により、万一の事故を防ぐため)

1 運転中に を押す

- 「3時間延長」ボタンを押すと、運転を3時間延長します。

3時間延長のお知らせ

運転開始から2時間45分経過すると、3時間延長ランプが点滅し、「ピピッ、ピピッ」とお知らせ音が鳴ります。

- ➔このときに、「3時間延長」ボタンを押すと3時間延長ランプが消灯し、運転を3時間延長します。

2 自動停止後に を押す

- 運転開始から3時間が経過すると、運転を自動停止し、3時間延長ランプが点灯します。
 - ➔このときに、「3時間延長」ボタンを押すと3時間延長ランプが消灯し、再び運転を開始します。

運転開始から2時間45分経過



運転開始から3時間経過



「3時間延長」ボタンを押すと



温度調節をする

※グラフィットモードは温度調節ができません。

※温度調節は、12℃～30℃の範囲で調節できます。

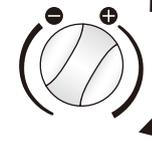
1 温度を上げるときは、 「温度調節ダイヤル」を右にまわす

- デジタル表示部の「設定温度」が1℃ずつ上がります。
- お好みの温度が表示されたら「温度調節ダイヤル」の操作を停止してください。

2 温度を下げるときは、 「温度調節ダイヤル」を左にまわす

- デジタル表示部の「設定温度」が1℃ずつ下がります。
- お好みの温度が表示されたら「温度調節ダイヤル」の操作を停止してください。

温度/タイマー調節



右に
まわす



温度/タイマー調節



左に
まわす



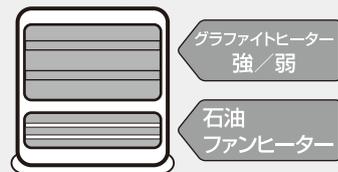
お知らせ

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定温度を記憶していますので、再度セットする必要はありません。
- 室温表示は、室内平均温度の目安です。設置条件等により必ずしも寒暖計の温度とは一致しません。
- 「給油」が点灯しているとき、燃焼は中～弱になります。
- 室温が0℃以下の場合「0」を表示します。
- 暖かい日(秋口や春先など)や狭い部屋でご使用になる場合は室温が設定温度より上昇することがあります。(暖房負荷が小さいために、弱燃焼でも暖めすぎになるためです。)

ハイブリッドモード

ハイブリッドモード「HYBRID 自動／HYBRID 強／HYBRID 弱」は、石油ファンヒーターとグラファイトヒーターの両方を使用して暖めます。とても寒い日や、広いお部屋で素早く暖まりたいときにおすすめです。灯油切れになってもグラファイトヒーターはご使用いただけます。ハイブリッド 自動モードは、グラファイトヒーターの強／弱を自動的に切り換えますので節約暖房したいときにご使用ください。

■ハイブリッド 自動モード



ハイブリッド 自動モードで運転する

1 運転切換ダイヤルを **HYBRID自動** に合わせる

2 **入** を押して、運転を開始する

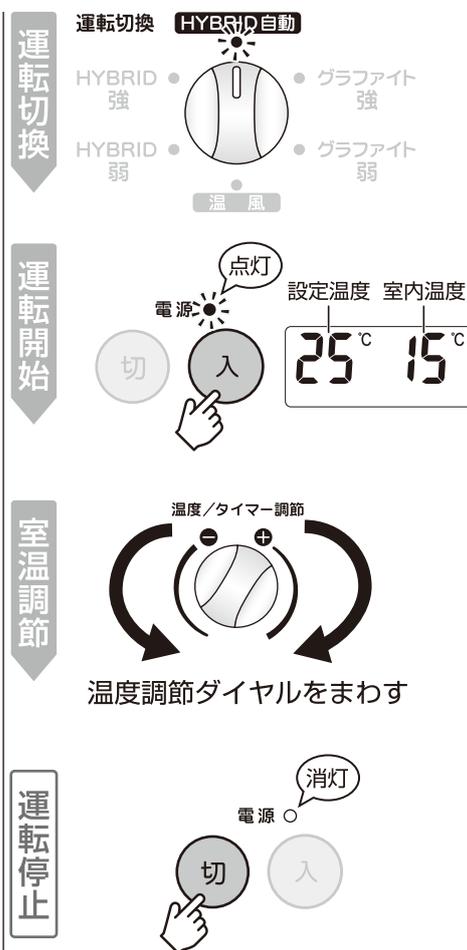
- 電源ランプとHYBRID 自動ランプが点灯し、グラファイトヒーターの運転を開始します。
- デジタル表示部には設定温度と室内温度を表示します。
- 約3分後、石油ファンヒーターが自動点火し燃焼を開始します。

3 室温調節をする (☞ 17ページ参照)

- お好みの温度に設定してください。

4 消火するときは **切** を押す

- 電源ランプが消灯したことを確認してください。
- 石油ファンヒーター／グラファイトヒーターの運転を停止します。
※送風が一度停止したあと、再度送風を開始し、約3分30秒後にすべての運転を停止します。
- ※本機は安全のため運転開始から3時間経つと運転を自動停止し、3時間延長ランプが点灯します。運転を継続・延長するには、「3時間延長」ボタンを押してください。

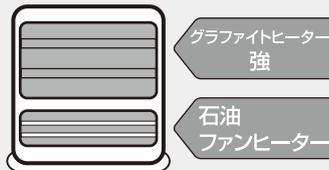


お知らせ

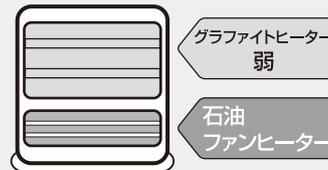
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定温度を記憶していますので、再度セットする必要はありません。
- 12°Cから30°Cの範囲で室温調整ができます。
- 室温が0°C以下の場合には「0」を表示します。
- ハイブリッドモード「HYBRID 自動／HYBRID 強／HYBRID 弱」で運転中に灯油がなくなった場合、石油ファンヒーターとグラファイトヒーターの運転を停止します。表示部には「H I」を表示し点滅をくり返します。
※電源ボタン「切」を押し、再度電源ボタン「入」押すとグラファイトヒーターの運転を開始します。
- 室温表示は、室内平均温度の目安です。設置条件等により必ずしも寒暖計の温度とは一致しません。

石油ファンヒーターとグラファイトヒーターの両方を使用して暖めます。
石油ファンヒーターは、室内温度と設定温度に応じて自動で温度調節を行います。
素早く暖まりたいときや、継続して暖めたいときにご使用ください。

■ハイブリッド 強モード



■ハイブリッド 弱モード



ハイブリッド 強／ハイブリッド 弱モードで運転する

1 運転切換ダイヤルを **HYBRID 強**、または **HYBRID 弱** に合わせる

- **HYBRID 強**… グラファイトヒーター「強」と石油ファンヒーターで運転します。
 - **HYBRID 弱**… グラファイトヒーター「弱」と石油ファンヒーターで運転します。
- ※運転中に「運転切換ダイヤル」をまわすと、運転モードを切り換えることができます。

2 **入** を押して、運転を開始する

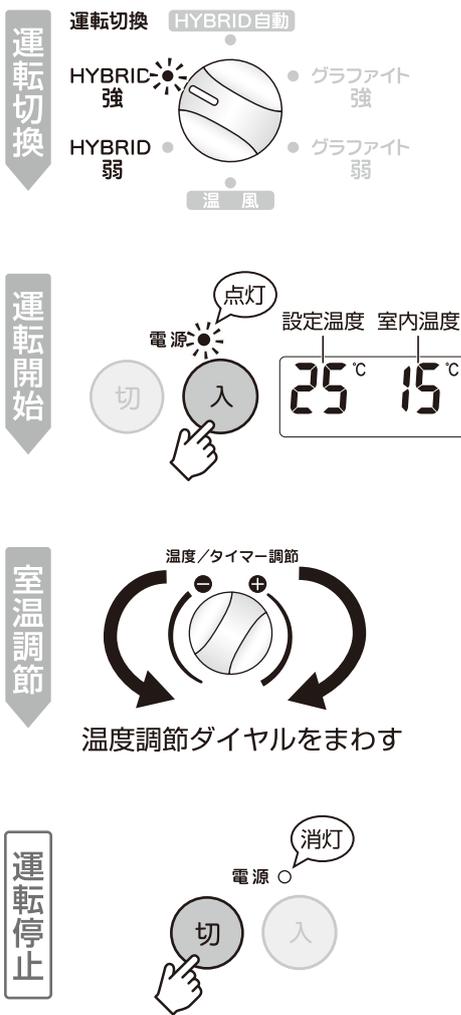
- 電源ランプとHYBRID 強 (HYBRID 弱) ランプが点灯し、グラファイトヒーターの運転を開始します。
- デジタル表示部には設定温度と室内温度を表示します。
- 約3分後、石油ファンヒーターが自動点火し燃焼を開始します。

3 室温調節をする (17ページ参照)

- お好みの温度に設定してください。

4 消火するときは **切** を押す

- 電源ランプが消灯したことを確認してください。
- 石油ファンヒーター／グラファイトヒーターの運転を停止します。
※送風が一度停止したあと、再度送風を開始し、約3分30秒後にすべての運転を停止します。
- ※本機は安全のため運転開始から3時間経つと運転を自動停止し、3時間延長ランプが点灯します。運転を継続・延長するには、「3時間延長」ボタンを押してください。



使いかた

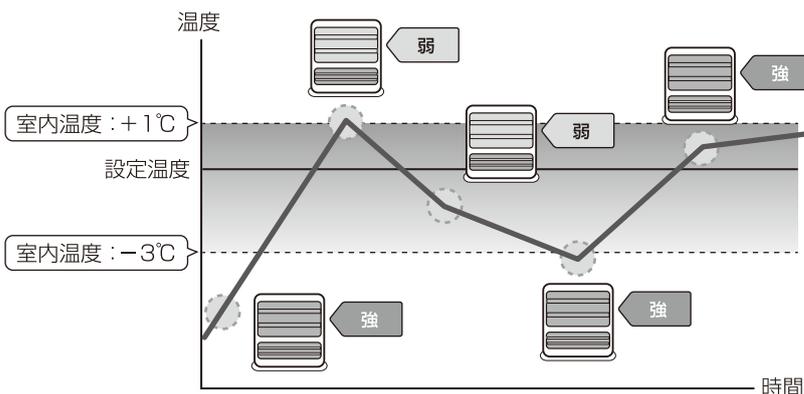
ハイブリッド 自動モードの自動温度調節について

- ハイブリッド 自動モードで運転中、グラファイトヒーターは自動で「強」と「弱」を切り換えて運転します。

室内温度が設定温度より1℃高くなると「強」から「弱」に切り換ります。

室内温度が設定温度より3℃低くなると「弱」から「強」に切り換ります。

- ※石油ファンヒーターも室内温度と設定温度に応じて自動で温度調節を行います。

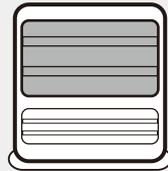


使いかた

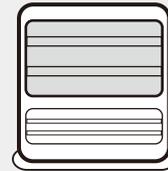
グラフィイトモード

グラフィイトヒーターを使用して暖めます。
運転開始後すぐに暖めることができるため、素早く暖まりたいときに便利です。
グラフィイトモードは、灯油切れになったときでも運転できます。

■グラフィイト 強モード



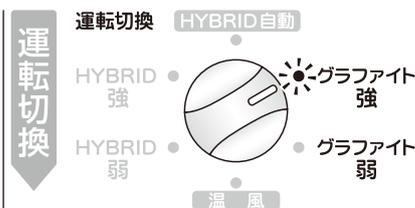
■グラフィイト 弱モード



グラフィイト 強/グラフィイト 弱モードで運転する

1 運転切換ダイヤルを「グラフィイト 強」、または「グラフィイト 弱」に合わせる

※運転中に「運転切換ダイヤル」をまわすと、運転モードを切り換えることができます。



2 「入」を押して、運転を開始する

- 電源ランプとグラフィイト 強 (グラフィイト 弱) ランプが点灯し、グラフィイトヒーターの運転を開始します。
 - デジタル表示部には室内温度を表示します。
- *運転中はファンが回転し、温風吹出口から微風が出ます。



3 消火するときは「切」を押す

- 電源ランプが消灯したことを確認してください。
 - グラフィイトヒーターの運転を停止します。
- *本機は安全のため運転開始から3時間経つと運転を自動停止し、3時間延長ランプが点灯します。運転を継続・延長するには、「3時間延長」ボタンを押してください。



使いかた 温風モード

石油ファンヒーターで運転します。
温風モードは、タイマー予約運転ができます。
「タイマー予約のしかた」☞ 22 ページ参照

■ 温風モード



石油
ファンヒーター



温風モードで運転する

1 運転切換ダイヤルを **温風** に合わせる

※運転中に「運転切換ダイヤル」をまわすと、運転モードを切り換えることができます。

2 **入** を押して、運転を開始する

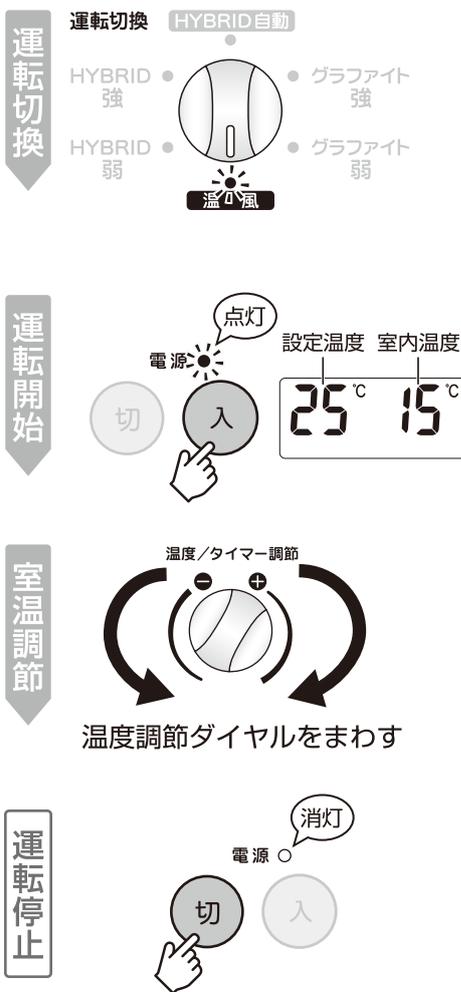
- 電源ランプと温風ランプが点灯します。
- デジタル表示部には設定温度と室内温度を表示します。
- 約3分後、石油ファンヒーターが自動点火し燃焼を開始します。

3 室温調節をする (☞ 17ページ参照)

- お好みの温度に設定してください。

4 消火するときは **切** を押す

- 電源ランプが消灯したことを確認してください。
- 石油ファンヒーターの燃焼を停止します。
※送風が一度停止したあと、再度送風を開始し、約3分30秒後に運転を停止します。
- ※本機は安全のため運転開始から3時間経つと運転を自動停止し、3時間延長ランプが点灯します。運転を継続・延長するには、「3時間延長」ボタンを押してください。



タイマー予約のしかた 温風モードのみ



タイマー予約のしかた ※タイマー予約は、温風モードで運転するときには使用できます。

※タイマー予約時刻を「6時30分」に設定する場合で説明しています。

1 現在の時刻を確認する

※現在時刻を合わせていないとタイマー予約ができません。
「時計の合わせかた(10ページ)」に従って現在時刻を設定してください。

2 運転切換ダイヤルを 温風 に合わせ、

入 を押す

- 電源ランプが点灯したこと確認してください。
※運転中にタイマー予約をする場合は、電源ボタン「入」を押す必要はありません。
- *「運転切換ダイヤル」が「温風」モード以外にセットされている場合、タイマー予約はできません。

3 タイマー を押す

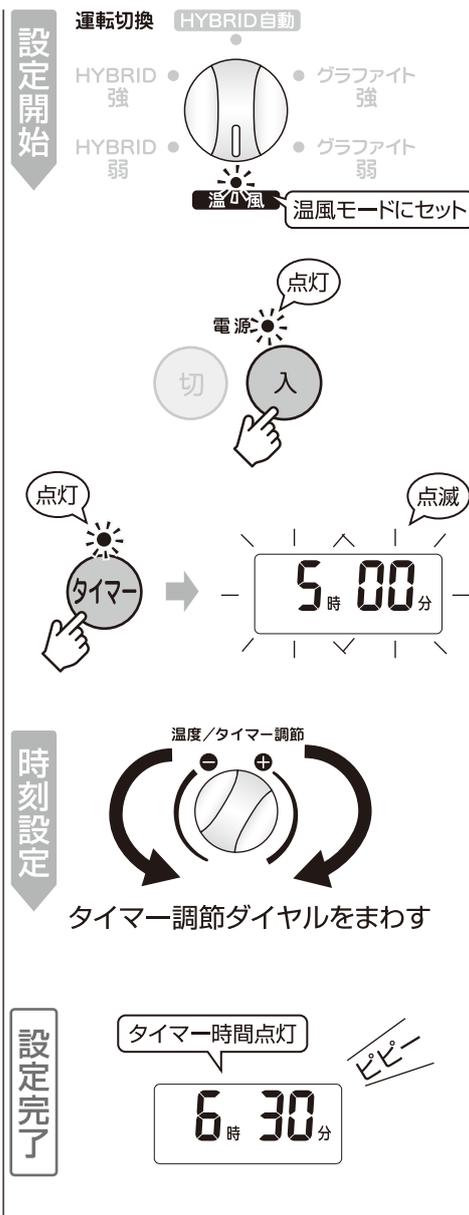
- タイマーランプが点灯したこと確認してください。
- デジタル表示部の設定時刻が点滅します。

4 タイマー調節ダイヤルをまわし、タイマー予約時刻を設定する

- 「時計の合わせかた(10ページ)」を参考に時刻を設定してください。
※無操作状態が約5秒間続くとタイマー予約が完了します。その場合はタイマー予約を解除したあと、再度タイマー予約時刻を設定してください。「タイマー予約の解除のしかた」(23ページ参照)
- *前回設定した時刻と同じ時刻に設定する場合、再度設定する必要はありません。

5 約5秒経過すると、タイマー予約時刻の設定が完了し、タイマー予約状態になる

- 電源ランプが消灯します。
※運転中の場合は運転が停止します。
- デジタル表示部にタイマー予約時刻を約10秒間表示したあと、現在時刻を表示します。



お願い(NOTICE)

- 地震や強い衝撃があるとデジタル表示部に「!!」を表示し、電源ランプが点滅します。また、運転中に給油タンクを抜くと「!!」を表示し、電源ランプが点滅します。このような場合は電源を入れなおしてから、再度タイマー予約を設定してください。
- タイマー予約中に「運転切換ダイヤル」を操作すると、タイマー予約が解除されますので、温風モードに戻してから再度タイマー予約を行ってください。
- 停電したときや電源プラグを抜いたときは(再通電後電源ランプ点滅)デジタル表示部に「---」を表示します。電源ボタン「入」を押し、再度タイマー予約時刻を設定してください。

タイマー予約の解除のしかた

- 1 タイマー予約中(タイマーランプ点灯中)に **タイマー** を押す
 - タイマーランプが消灯したことを確認してください。

タイマー予約時刻になったら

※タイマー予約運転は、安全のため約1時間で運転を自動停止します。

- 1 予約時刻になると、温風モードで自動運転
 - 電源ランプが点灯します。
 - 室温が低いほど、「あったかタイマー機能」によって予約時刻よりも早く運転を開始します。
- 2 運転停止の10分前
 - お知らせ音が「ピッ、ピッ、ピッ」と10秒間鳴り、タイマーランプが点滅します。
- 3 運転開始から約1時間経過すると自動停止
 - 電源ランプが消灯します。
 - タイマーランプは点滅を継続します。
 - 運転を再開する場合は、タイマーボタンを押してください。

予約時刻

運転停止10分前

運転停止



あったかタイマー機能

お目覚めの時に暖くなるように、予約した時刻より早く(5~15分前)運転を開始します。室温が16℃未満のときはその日のお部屋の温度によって点火する時刻が変わります。

お知らせ

- タイマー予約中(タイマーランプ点灯)や自動停止後(タイマーランプ点滅)は、電源ボタン「入」は操作できません。

使いかた

チャイルドロック

※お子さまの誤った操作による事故やケガを防ぐため、チャイルドロック機能が備えられています。

※運転中でも運転停止中でも、チャイルドロックをセットできます。

設定

- 3時間延長をピッという音が鳴るまで約3秒間押す
- デジタル表示部に  を表示し、セット完了です。



解除

- 3時間延長をピーという音が鳴るまで約3秒間押す
- デジタル表示部の  が消え、チャイルドロックが解除されます。



お知らせ

- デジタル表示部に  を表示しているときはすべての操作ができません。
- 運転中は、チャイルドロックがセットされた状態でも電源ボタン「切」を押すと運転を停止できます。
- チャイルドロックがセットされた状態では、電源ボタン「入」を押しても運転できません。
- 電源プラグを抜いたり、停電した場合、チャイルドロックは解除されます。
- チャイルドロック中に運転切換ダイヤルをまわしても運転モードは切り換りませんが、チャイルドロックを解除したときに運転切換ダイヤルが設定されている運転モードに切り換ります。

故障かな？

修理・サービスを依頼されるまえに次の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	原因(安全装置)	処置方法
点火や消火のとき		
● 電源ランプが点灯しない。 ● 点火しない。	● 3時間延長ランプが点灯していませんか？ (消し忘れ消火装置が作動) ● 電源プラグが抜けていませんか？ ● 給油タンクが入っていますか？ ● チャイルドロックしていませんか？	電源を入れなおす。 または3時間延長ボタンを押す。 電源プラグをコンセントに差し込む。 給油タンクを本体にセットする。 チャイルドロックを取り消す。
● においがする。	● 油がこぼれたままになっていませんか？ ● 変質灯油や不純灯油を使用していませんか？ ● 給油タンク受、油受皿に水がたまっていますか？ ● 運転中や消火直後に電源プラグをコンセントから抜きませんでしたか？	乾いた布で完全にふき取る。 新しい灯油と入れかえる。 給油タンク受、油受皿の水を抜く。 (☞ 29、32ページ) 運転中に電源プラグをコンセントから抜かない。
● 初めて使用するときや、シーズンはじめに使用するとき煙やにおいが出る。	● ヒーターやバーナーに付着したほこりが焼けるためです。	異常ではありません。
● 点火時、消火時に「カチャ」と音がする。	● ノズルを開閉する弁の音です。	
● 「ジー」、「ポッ」音がする。	● 点火放電や点火時の着火の音です。	
● 「ピチピチ」音がする。	● 点火時、消火時に金属が伸び縮みする音です。	
● ブレーカーが落ちる。	● コンセントを他の器具と併用していませんか？	
燃焼しているとき		
● 消火する。 ● ランプが正しく働かない。	● 電源に異常な電気雑音が入った。	電源プラグをコンセントから抜き再度入れる。
● 点火しても燃焼が弱く部屋が暖まらない。 ● 炎の状態が悪く、黄火燃焼やにおいが出る。	● タールが付着しています。 ● 燃焼・温風空気取入口がほこりでつまっています。 ● 換気不足のためです。	クリーニングする(☞ 30ページ) 燃焼・温風空気取入口を掃除する。 換気する
● 燃焼部の一部が赤くなる。	● 炎に熱せられるためです。	異常ではありません。
● 「コトコト」音がする。	● 電磁ポンプが動いている音です。	
● 「ボコボコ」音がする。	● 燃焼中や消火後に油受皿に灯油が流れる音です。	
● 「ピチピチ」音がする。	● 燃焼量が増えた時に金属が伸び縮みする音です。	
● 「シュー」音がする。	● 気化した灯油が吹き出す音です。	
● 室内温度表示が異常である。	● 油切れになっていませんか？ ● 室温センサーが直射日光にあたっていませんか？ ● 本体に逆風があたっていませんか？	給油する。(☞ 12ページ) 直射日光のあたらない場所に移動する。 本体に逆風があたらないようにする。
タイマー予約		
● タイマーを予約したのに運転しない。	● タイマー予約中に停電や地震・強い衝撃がありませんでしたか？	電源を入れなおす。
● タイマー予約ができない。	● 温風モード以外の運転モードで運転していませんか？	運転切換ダイヤルを「温風」にセットしてください。
● 以上の項目に従って、処置しても異常がなおらない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。		

異常のお知らせと処置のしかた

デジタル表示に自己診断表示が出たら…

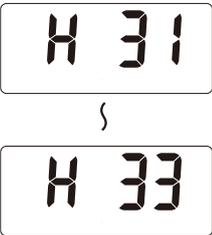
安全装置が作動すると、電源ランプが点滅し、自動消火します。

また、デジタル表示に故障・異常の原因(自己診断表示記号)がアルファベットと数字で表示します。

デジタル表示 (自己診断表示)	原因(安全装置)	処置方法
	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃焼・温風空気取入口がつまっていませんか? (過熱防止装置が作動) ● 温風吹出口がふさがっていませんか? (過熱防止装置が作動) 	<ul style="list-style-type: none"> 燃焼・温風空気取入口を掃除する。 (☞ 29ページ) 障害物を取りのぞく。 グラファイトヒーターが点灯しない場合は、本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店または、お客さま相談室へご連絡ください。(☞ 裏表紙)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 強い地震(震度5(強)以上)・衝撃を受けていませんか? (対震自動消火装置が作動) 	<ul style="list-style-type: none"> 地震によって作動した場合、周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないか確認し、電源を入れなおす。
<p>● 給油表示点滅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 灯油がなくなっていないですか? ● 給油タンクを本体から取り外している。 ● 給油タンク受に水やごみがたまっていますか? 	<ul style="list-style-type: none"> 給油する。(☞ 12ページ) 給油タンクを本体に取りつける。 給油タンクのお手入れをする。 (☞ 29、32ページ)。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 変質灯油や不純灯油を使用していませんか? ● タールが付着しています。 	<ul style="list-style-type: none"> クリーニングする。 (☞ 30ページ) 新しい灯油と入れかえる。 (☞ 11ページ) クリーニングする。 (☞ 30ページ)
<p>● 20秒間音でお知らせします。 ● 換気表示点滅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 室内の換気が不足していませんか? (不完全燃焼防止装置が作動) ● 燃焼部に金属酸化物やシリコン酸化物やタールが付着しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 必ず1時間に1～2回は換気する。 本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店または、お客さま相談室へご連絡ください。(☞ 裏表紙)

お手入れ・保管・その他

異常のお知らせと処置のしかた

デジタル表示 (自己診断表示)	原因 (安全装置)	処置方法
	<ul style="list-style-type: none"> ● 油受皿に水がたまっていませんか? ● 点火ミスまたは、燃焼に異常が発生していませんか? (点火安全装置が作動) 	<p>油受皿の水を抜き取る。 (☞ 29、32ページ)</p> <p>ひんぱんに発生する場合は、本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店または、お客さま相談室へご連絡ください。(☞ 裏表紙)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃焼・温風空気取入口がつまっていませんか? (不完全燃焼防止装置が作動) ● 燃焼部に金属酸化物やシリコン酸化物が付着しています。超音波加湿器や揮発性シリコン配合の枝毛用コート液・化粧品・つや出し剤などを使用していないですか? ● 電磁ポンプにごみがつまっている。 	<p>燃焼・温風空気取入口を掃除する。(☞ 29ページ)</p> <p>本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店または、お客さま相談室へご連絡ください。(☞ 裏表紙)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃焼部にタールが付着しています。 	<p>本体内部の点検が必要です。お買い上げの販売店または、お客さま相談室へご連絡ください。(☞ 裏表紙)</p>
<p>その他、上記以外の表示、または全く表示しない場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜いて、再び差し込み、電源を入れなおす。 	
 <p>● 点滅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 不完全燃焼防止装置が連続して4~6回作動した。 	<p>直ちに部屋の換気を十分にしてお買い上げの販売店またはお客さま相談室へご相談ください。(☞ 裏表紙)</p>
 <p>● 点灯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 不完全燃焼防止装置が連続して7回作動した。 	<p>直ちに部屋の換気を十分にしてお買い上げの販売店またはお客さま相談室へご相談ください。(☞ 裏表紙)</p>

上記の処置をしても、繰り返し表示するときや運転しないときは、表示内容を確認して、電源ボタン「切」を押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

日常の点検とお手入れのしかた

グラファイトヒーターのお手入れ

警告

- お手入れの際は必ず運転を停止し、電源プラグを抜き、本体が冷めてから行ってください。(感電ややけどの原因)
- ガソリン、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、灯油、アルコールなどは使用しないでください。(ひび割れ・感電・引火の原因)
- 本体を水洗いしないでください。(感電や火災・故障の原因)

※お手入れの際は、手袋を着用してください。

1 前面ガードを開く

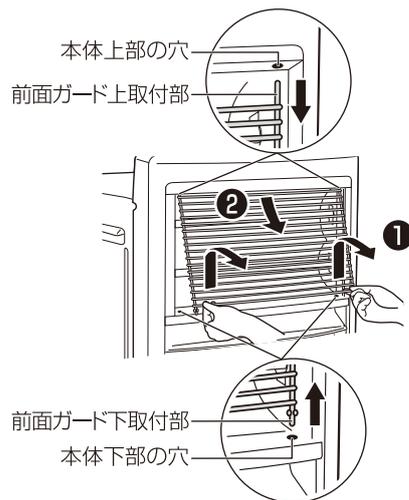
- ① 前面ガードを押し上げながら、本体下部の穴から前面ガード下取付部を外す。(左右2カ所)
- ② 前面ガードを手前に引き、本体上部の穴から前面ガード上取付部を外す。(左右2カ所)



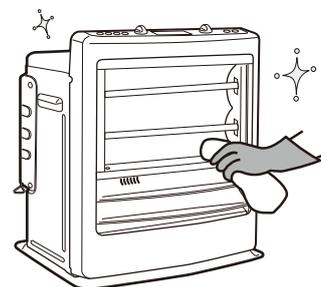
注意

- 取付部の先端で本体を傷つけないように注意してください。

前面ガードの取り外し



お手入れ



2 汚れをふき取る

- 前面ガード・反射板・本体に付着したほこりやごみをときどき取り除いてください。
※ほこりが焦げたり、故障の原因となります。
- 薄めた台所洗剤(中性)に、タオルなどを浸してしぼり、汚れをふき取ってください。
※化学ぞうきんをご使用の場合は...
化学ぞうきんの注意書に従ってください。

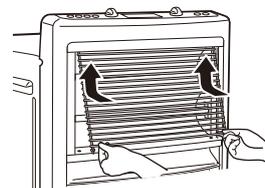


注意

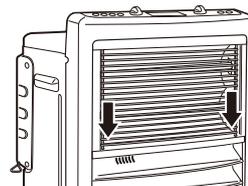
- 糸くずなどがついた場合は取り除いてください。(火災や異臭の原因)
- ヒーターを手で触らないでください。

前面ガードの取り付け

- ① 前面ガード上取付部を取り付ける



- ② 前面ガード下取付部を取り付ける



3 乾燥させた後、前面ガードを元に戻す

- ① 前面ガード上取付部を本体上部の穴に入れて押し上げる。(左右2カ所)
- ② 前面ガード下取付部を本体下部の穴にはめ込み、確実にハマっていることを確認する。(左右2カ所)



注意

- 前面ガードを外したままで、使用しないでください。(感電や火災・やけどの原因)
- よく乾燥してから通電してください。
- 取付部の先端で本体を傷つけないように注意してください。
- 前面ガードの取付部を本体の穴に入れるとき、指をはさまないように注意してください。

お手入れ・保管その他

お願い(NOTICE)

- お手入れのあとは、よく乾燥させてください。

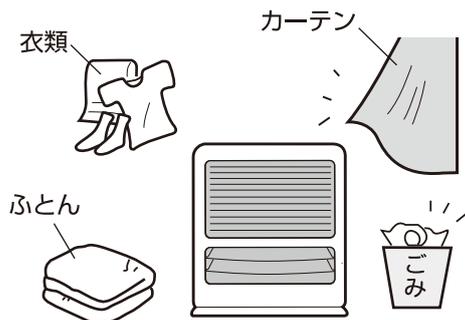
日常の点検とお手入れのしかた

石油ファンヒーターのお手入れ

お使いのたびに点検を

周囲の可燃物の確認

- 本体の周囲に、燃えやすいものがないか常に確認してください。



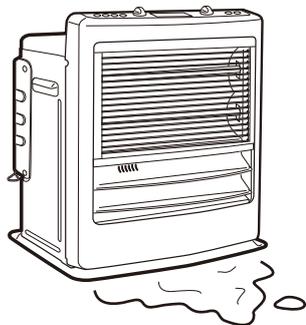
給油タンクの点検

- 給油口・口金にさび、変形、回転不良および破損があるときは、新しい給油タンク・口金と取り替える。
お買い上げの販売店にご相談ください。



油漏れ・油のたまり・油のにじみ

- 油漏れのある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、給油タンクを取り出してから、お買い上げの販売店にご相談ください。



1シーズンに2～3回

対震自動消火装置の点検

- 燃焼中、本体を水平にゆすって、確実に消火するか確かめてください。

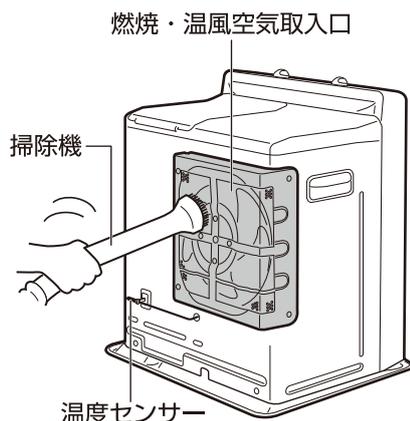
定期的にお手入れを

- 本体が冷えた後、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 電気部品や安全装置は絶対に分解・調節しないでください。

週1回以上

燃焼・温風空気取入口の掃除

- ほこりは掃除機で吸い取ります。



- 取れにくいほこりは歯ブラシなどで落としながら、掃除機で吸い取ります。

お願い(NOTICE)

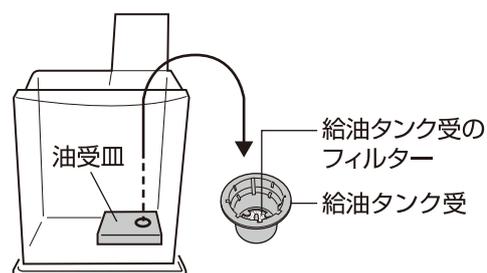
- 灯油や灯油でぬれたほこりは、絶対に掃除機で吸わせないでください。室温センサーを曲げないように注意してください。
- 運転中は掃除機で燃焼・温風空気取入口の掃除をしないでください。異常燃焼を起こします。

1シーズンに2~3回

給油タンク受の掃除

- 灯油に水やごみが混入することがありますので、下記に従って掃除をしてください。

1 給油タンク受を取り出す



2 給油タンク受のごみや水を取る

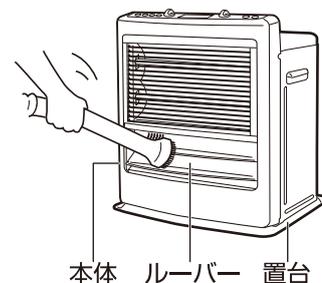
- 給油タンク受を逆さにし、新聞紙などの上に置いて取ってください。

3 給油タンク受をもとどおりにセットする

1ヶ月に1回以上

本体・ルーバーの掃除

- 本体やルーバーに付着したほこりやごみをときどき取り除いてください。
※ほこりが焦げたり、故障の原因となります。
 - ほこりは掃除機で吸い取ります。
 - 油や汚れは、家庭用台所洗剤(中性)を薄めたものを付けた布でふき、かわいたやわらかい布でふき取ります。
 - ルーバーは、ほこりや白い粉がつき変色することがありますので、家庭用台所洗剤(中性)を薄めたものを付けた布でふき、かわいたやわらかい布でふき取ります。
- ※前面ガードは掃除機を使用してお手入れを行わないでください。
☞「グラファイトヒーターのお手入れ(27ページ)」をご参照ください。



お願い(NOTICE)

- 本体をベンジン・シンナーなどでふかないでください。

日常の点検とお手入れのしかた

石油ファンヒーターのお手入れ

汚れたり、灯油が通りにくくなったとき

- 給油タンク受のフィルターは、灯油は通しますが水は通しにくいフィルターでできています。給油タンク受のフィルターに水やごみがたまると、給油タンクに灯油があるのに、「H I」表示(灯油切れエラー)が点滅することがあります。
- 給油タンクを取り出してから、給油タンク受を傾けないように取り出し、たまった水やごみを取り除いてください。



お願い(NOTICE)

- 給油タンク受は水で洗わないでください。必ずきれいな灯油で洗ってください。水で洗うと灯油が通過しにくくなります。ごみが取れにくい場合は、歯ブラシなどを使うと便利です。給油タンク受は必ず取り付けてください。取り付けないで使用すると器具の故障の原因になります。

1シーズンに1回以上 ※必ず **準備** → **手順** の順に行ってください。

クリーニング (から焼き)

灯油を気化させる部品にたまったタールを、から焼きすることにより取り除きます。

次のようなときはクリーニングをしてください。(クリーニングは約2時間かかります)

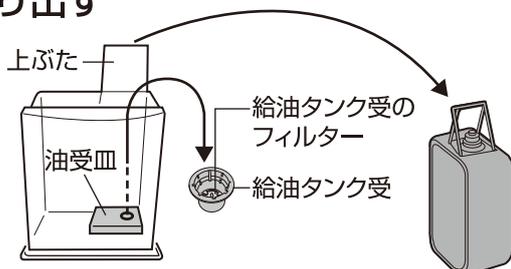
- デジタル表示に「H I」を表示したとき
- 点火しない、炎が小さい、黄火燃焼になる、においが強い
- シーズンの終わりでおしまいになるとき (またはシーズンの始め)

準備

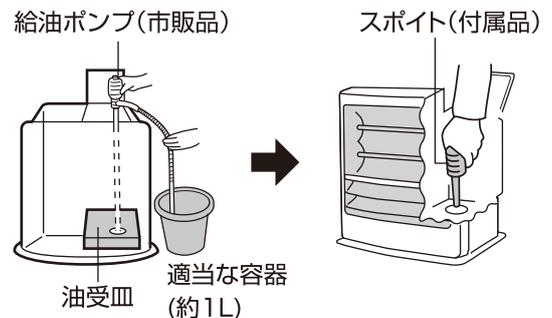
油受皿の灯油を完全に抜き取らないとから焼きにならず、クリーニングできません。

- 1 本体を室外に出す
 - クリーニング中はにおいや煙が出ます。

- 2 給油タンクと給油タンク受を取り出す



- 3 油受皿および給油タンクの灯油を給油ポンプで抜き、抜ききれないときは、灯油を付属のスポイトで抜く
 - 油受皿の灯油を抜かないとクリーニングを受け付けできません。



- 4 給油タンク受、空にした給油タンクを元通りにセットする
 - 上ぶたを閉めてください。

準備 の手順1~4を行ったあと、次ページの **手順** に従ってクリーニングを行ってください。

手順

※以下の手順を行う前に、必ず前ページの(準備)を行ってください。

5 電源プラグをコンセントに差し込む

6 電源ランプが「消灯」していること確認する

- 電源ランプが「点灯」または「点滅」している場合、次の操作ができません。

7 クリーニングボタンを約3秒間ピッと音がするまで押しつづける

- デジタル表示に「[-」が表示されます。



クリーニングボタン

「[-」を表示

8 電源ボタン「入」を押す

- 電源ランプが点灯して、デジタル表示の表示が「[8]」になり、クリーニングを開始します。

9 「[0]」表示が点滅するまで放置する(約2時間かかります)

- デジタル表示が「[8]」→「[7]」→「[6]」…と変わり、「[0]」表示が点滅すると、クリーニングは終了です。

10 電源ボタン「切」を押し、運転を停止する

クリーニングが終わったら

引き続き使用されるとき(シーズン中)

- ① 給油タンクに新しい灯油を給油して本体にセットし、約1分後に電源ボタン「入」を押し、運転を開始する。

おしまいになるとき(シーズン終わり)

- ① 電源プラグをコンセントから抜く。
- ② 以後は、「保管のしかた」に従って保管する。(P.33 ページ手順「5」以降)

お願い(NOTICE)

- 誤って不良灯油を使用したために、クリーニングするとき1回で完全に回復しない場合は、2~3回行ってください。
- クリーニングを途中で止めると効果がありません。「[0]」表示になるまで行ってください。
- 上記手順通りに行っても「[-」表示が出ないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

- クリーニング中に移動したりすると表示が点滅状態になり、運転を停止します。電源ボタン「切」を押し、再度手順3からやり直してください。
- クリーニング中は電磁ポンプの空打ち音(ポコポコ)がし、送風になりますが、異常ではありません。
- クリーニング中「カチッ」「カチッ」と音がして、照明が一瞬変化することがありますが、異常ではありません。

日常の点検とお手入れのしかた

石油ファンヒーターのお手入れ

デジタル表示に「H 31~H 33」を表示したとき

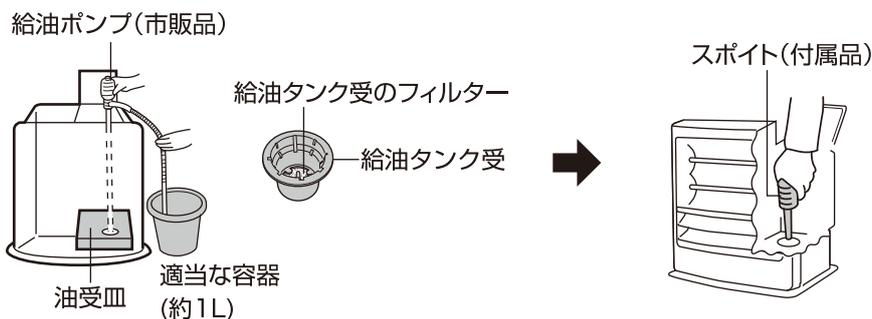
油受皿に水がたまっている場合があります

● 油受皿の水の確認のしかた

明るい場所で、給油タンク受を取り、油受皿の中を見ると灯油と水が分離して二重に見えます。このようなときは、油受皿に水がたまっていますので、下記の手順に従って、油受皿の水抜きをしてください。

1 市販の給油ポンプと付属のスポイトで灯油を拭き取る

- 抜いた灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。



2 給油タンク受をセットし、給油タンクに新しい灯油を給油する

3 給油タンクを本体にセットし、約1分待って電源ボタン「入」を押し、再点火する

- このとき白煙が出ることがあります。

4 1回で点火しなかった場合、再び点火操作する

処置を行っても直らないとき

- 本体内部の点検が必要です。お買上げの販売店または、お客さま相談室へご連絡ください。(☎裏表紙)

定期点検について

定期点検のおすすめ(2シーズンに1回)

長期間で使用になりますと機器の点検が必要になります。

2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに、お買上げの販売店または修理資格者【一般財団法人日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる販売店などにご相談され、点検依頼されることをおすすめします。

部品交換について

故障したものは絶対に使用しないでください。

お買い上げの販売店へご依頼ください

- 部品交換や修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売店または一般財団法人日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)などのいる販売店で修理をお受けください。
- 不完全な修理は危険です。
- 必ず、純正部品(指定された部品)をご使用ください。

修理が必要な部品

- 使用期間により交換が必要な部品
電極ユニット、ホエンバンU、燃焼筒、
給油タンク受、アースリング
- 変質灯油、不純灯油の使用により劣化しやすい部品
給油タンク受(フィルター部)、電磁ポンプ、
気化器、温風吹出口、ソレノイド

別売品

- 給油タンク受(フィルター付)
- 給油口口金
- 給油タンク(口金付)

保管のしかた

長期間使わないとき

1 給油タンクを取り出し、 灯油を抜き取る

- 水、ごみを残さないでください。
(さび、穴あきの原因に)

2 給油タンク受の掃除をする

- 29 ページの手順「1」と「2」のみ行ってください。

3 消火するまで燃やし切り、油受 皿内の灯油を付属のスポイト で抜き取る

- 水、ごみを残さないでください。
(さび、穴あきの原因に)
- 急ぐ場合は市販の給油ポンプで油を抜いてください。

4 クリーニング(から焼き)する ☞ 30 ページ

- バーナーの寿命を延ばし、長くご使用いただくためです。

5 本体、燃焼・温風空気取入口、 ルーバーを掃除する ☞ 29 ページ

6 電源コードを束ね、付属のスポイト とともにコードホルダー 差し込み穴に差し込む ☞ 7 ページ

7 乾燥した場所に保管する ● 傾けたり、横倒しにしないでください。

- 灯油の廃棄………灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。
- 本体の廃棄………本体の廃棄処分は、給油タンク、油受皿の灯油を抜いてください。

仕 様

型 式 の 呼 び	CAK-GF46A	
種 類	気化式・強制通気形・強制対流形	
点 火 方 式	高圧放電自動点火	
使 用 燃 料	灯油(JIS K 2203 1号灯油)	
油 タ ン ク 容 量	7.0L	
暖 房 出 力	ハイブリッドモード	「強」(最大)4.56kW / 「弱」1.26kW
	グラファイトモード	「強」(最大)0.80kW / 「弱」0.45kW
	温 風 モ ー ド	「強」(最大)3.76kW / 「弱」0.81kW
標 準 適 室 (暖房めやす)	約20.0~26.5㎡ (12畳~16畳)	
燃 料 消 費 量	温 風 モ ー ド	「強」(最大)3.76kW(0.365L/h) / 「弱」(最小)0.81kW(0.079L/h)
燃 焼 継 続 時 間	温 風 モ ー ド	「強」(最大)19.2 時間 / 「弱」(最小)88.6 時間
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	AC100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	ハイブリッドモード	最大消費電力(点火時) 1260W/1260W
		燃焼時消費電力 821W/821W
	グラファイトモード	810W/810W
	温 風 モ ー ド	最大消費電力(点火時) 450W/450W
		燃焼時消費電力 21W/21W
待機時消費電力	0.8W/0.8W	
運 転 騒 音 (正 面)※	温 風 モ ー ド	「強」(最大)39dB / 「弱」(最小)23dB
安 全 装 置	対震自動消火装置・不完全燃焼防止装置・点火安全装置 停電安全装置・過熱防止装置・消し忘れ消火装置・給油時消火装置	
外 形 寸 法	高さ465mm × 幅460mm × 奥行344mm(置台を含む)	
質 量	約12.0kg	
付 属 品	スポイト	

※騒音の数値はJIS測定法 (S3031) に基づく測定値です。

保証とアフターサービス

保証書について

裏表紙の保証書は販売店でお渡ししますから、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ保管してください。

保証期間はご購入の日より1年間です。

- 保証書の記載内容によりご購入の販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、ご購入の販売店、または当社にご相談ください。お客様の希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修部品の保有期間について

ハイブリッド石油ファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、6年です。

- 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される場合

- 転居のときなど車で運搬する場合は、給油タンクを抜き、油受皿の灯油を抜き、横倒しや斜めにしないで運搬してください。振動や傾いたときに灯油がもれます。また故障の原因にもなります。

愛情点検	長年ご使用のハイブリッド石油ファンヒーターの点検を!	●ハイブリッド石油ファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、6年です。
	このような症状はありませんか <ul style="list-style-type: none">●油もれがする●白煙が出たり、強いにおいがする●運転中、異常な音がる●何度も同じエラー表示が出る●その他の異常や故障がある	ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。 ※2シーズンに1回程度の定期点検をおすすめします。

ご相談や修理は

●故障修理を依頼されるときは

次の事項をご連絡ください

- ① 故障の状況
- ② 型式：CAK-GF46A
- ③ 製造番号(本体右側面のラベルに記入してあります)
- ④ お買い上げ年月日
- ⑤ おなまえ、おところ、電話番号

●修理に出すとき、運搬するときは

給油タンク、油受皿の灯油を抜いてください。

故障・修理の際の連絡先

修理・故障などのアフターサービスについてご不明な点はお買い上げ販売店か下記へお問い合わせください。

フリーダイヤル
日本エーアイシー株式会社 お客さま相談室
0120-88-3090 FAX **0120-88-7055**
受付時間:平日 9:00~17:00
(土曜・日曜・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

●お客さまメモ アフターサービスのご連絡に便利です

お買い上げ年月日	年	月	日
お買い上げ販売店			
電話()	—		
担 当			

「取扱説明書のダウンロード」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

日本エーアイシー

検索 で検索してください。

www.aladdin-aic.com

販売店様へのお願い 下の保証書に必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

電気温風機付強制通気形開放式石油ストーブ

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。

本書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。

無料修理規定

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合はお買い上げの販売店が無料修理いたします。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、製品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にお問い合わせください。
4. ご贈答などで本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社へお問い合わせください。
5. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
(ロ) お買い上げ後、落された場合などによる故障・損傷。
(ハ) 火災・公害および地震・風水害その他天災地変などによる故障・損傷。
(ニ) 一般家庭用以外(業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載など)に使用された場合の故障・損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
(ト) 消耗部品の取り替えを要する場合。
(チ) 灯油(JIS K2203 1号灯油)以外の燃料、または不純燃料の使用による故障・損傷。
(リ) シリコン配合剤の使用による故障。

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

7. 本書は再発行いたしませんので、たいせつに保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について、くわしくはアフターサービスの項をご覧ください。

型 式 CAK-GF46A

保証期間

お買い上げ日

年 月 日より

本体 お買い上げ日から 1年間

お客様

ふりがな

お名前

様

〒

ご住所

TEL

取扱販売店

店名・住所・電話番号

印

日本エーアイシー株式会社

本社 〒675-2462 兵庫県加西市別所町395番地 TEL 0790(44)1025
FAX 0790(44)2191

この商品は海外では使用できません。

(FOR USE IN JAPAN ONLY)

1609 : ★★★